



命の尊さを実感

2月1日、総合公園でいのちを守る森づくり「第6回みんなで植樹祭」が行われました。

今回のイベントの参加者は約250人。横浜国立大学名誉教授の宮脇昭さんによる指導を受けながら、シラカシやアラカシなど約1200本を植樹しました。寒空の下スコップを握りしめ、自らの手で懸命に苗木を植えた参加者らは、命の尊さを実感していた様子でした。



登山家 三浦雄一郎さんの特別講演も ～ときわ会創立50周年記念～

2月11日、熊谷市のホテルガーデンパレスで、太井保育園および熊谷太井保育園を運営している社会福祉法人ときわ会の50周年記念祝賀会が行われました。

「血液型別縦割保育」などの先駆的な保育をはじめ、「食育」や「いじめ問題」に熱心に取り組む同会。祝賀会では、吉田紀子理事長の半生を描いた漫画「すらと歩む」が披露された他、参議院議員の佐藤正久さんから祝辞が述べられました。また、登山家の三浦雄一郎さんによる特別講演も行われるなど、幼児教育の第一線で活躍する同会の節目を大勢の関係者らが祝いました。



記録更新を目指して

1月25日、行田グリーンアリーナで第25回行田市なわとび大会が行われました。

二重とびや時間とびなど個人の部6種目、長なわ10人並びとびなど団体の部3種目に、市内の小学生424人が参加。大会に向けて練習を積んできた児童たちは、記録更新を目指し、慎重にそして全力で競技に臨んでいました。また、昨年より100人以上も参加者が増え、大いに盛り上がった大会となりました。



元気で長生きするためのコツとは？

1月21日、商工センターで平成25年度介護予防講演会「『元気で長生きするための秘策』～いつまでも生き生きと暮らそう～」が行われました。

今回の講演会の講師を務めたのは、首都大学東京都環境学部教授の星旦二さん。星さんは、健康寿命を延ばすための方法や各県の健康づくりの取り組みなどについて、長年調査したデータを使いながら解説しました。分かりやすく、そしてユーモアあふれる講義とあって、受講者は楽しく健康づくりについて学ぶことができました。



園児たちにも大人気 忍城おもてなし甲冑隊

2月6日、忍城おもてなし甲冑隊が行田保育園を訪問しました。

この事業は、園児たちに甲冑隊を身近に感じてもらおうと、市内の全12保育園で行っているものです。この日は成田長親、甲斐姫、足軽あおが訪れ、忍城攻防戦をまとめたオリジナル紙芝居「忍伝説」や絵本の読み聞かせの他、園児たちと一緒に「テレ玉くん体操」を踊りました。園児たちは甲冑隊に夢中になって、楽しいひとときを過ごしていました。



「ことば」は最高のプレゼント

1月18日、「みらい」文化ホールで、行田市人権教育合同学習講演会が開催されました。

アニメ「サザエさん」のマスオさん役の声優である増岡弘さんを講師に迎え、私たちが何気なく発している「言葉」の重要性についての講演が行われました。相手を思いやる心のもった言葉こそが、相手に対する最高のプレゼントであり、お互いの人権を尊重することにつながることを、今までの経験を交えながら話しました。会場を訪れた方は、相手への「思いやり」の重要性を改めて認識していました。



忍川を桜の名所に

2月11日、行田さくらロータリークラブ(倉持成一会長)主催による「忍川堤さくら植樹事業」が行われました。

この事業は、桜の名所としてにぎわいを見せていた忍川を再現するために実施したものです。忍川右岸の翔栄橋から酒巻導水路合流部までの区間に30本のベニシダレが植樹され、記念碑も建てられました。立派に成長し、桜の花が咲き誇るのは10年後です。「桜の名所 忍川」の復活が今から楽しみです。



文化財を災害から守り、後世に伝える

1月19日、河原神社(南河原地内)で第60回文化財防火デー消防訓練が行われました。

河原神社敷地内で枯草火災が発生し、神社に収蔵されている重要文化財が焼損の危険にさらされていることを想定した今回の訓練に、近隣住民や消防ボランティアレディース隊らが参加。この日は、発見・通報訓練や消火器・水バケツを使った初期消火訓練が行われた後、消防職団員による消火訓練が行われました。この訓練を通して、「文化財を災害から守り、後世に伝えていこう」という意識を高めることができました。

